

参考) 牽引(ひっぱり)試験による網膜対応での斜視手術の可否決定方法

準備物 点眼麻酔・開瞼器・固定ピンセット



目的

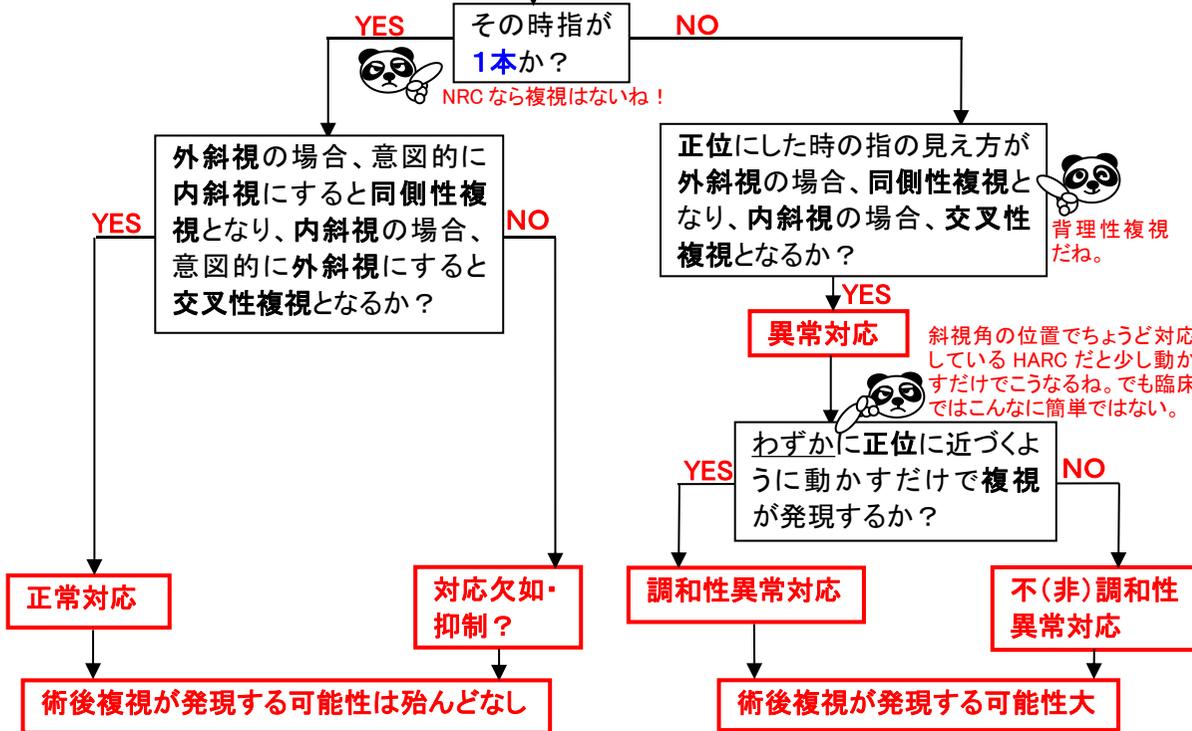
・恒常性斜視において眼球を正位に近づけての複視の有無の確認と手術の可否の決定
・網膜対応の把握

斜視の対応診断の場合

点眼麻酔をし、開瞼器を掛け患者の前に1本指を出し、固視眼で指を見ているように命じ、固定ピンセットで正位になるように動かす



指の前にペンライトなどを置いて角膜反射を見る必要があるでしょうね。



網膜対応による斜視手術可否の決定方法

久保田伸枝: 視能学第2版 P335

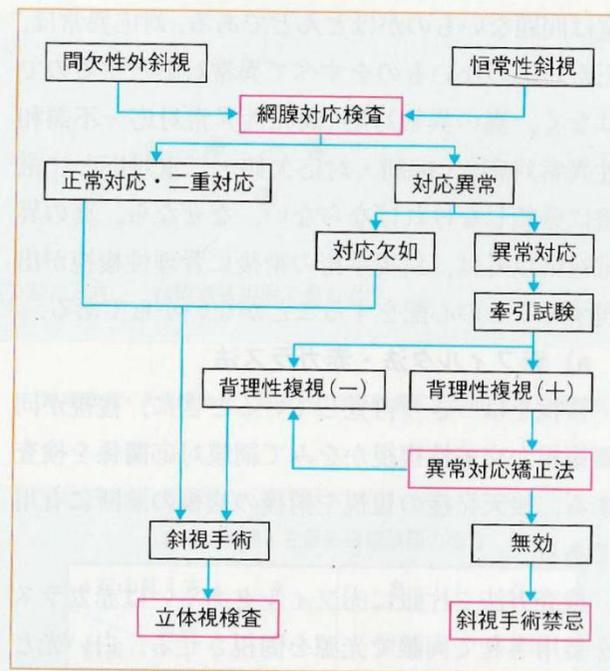


図 10 ●両眼視機能検査 チャート

斜視がある場合。